河合塾グループ

# News Release

2026年11月10日

報道機関　ご担当者各位

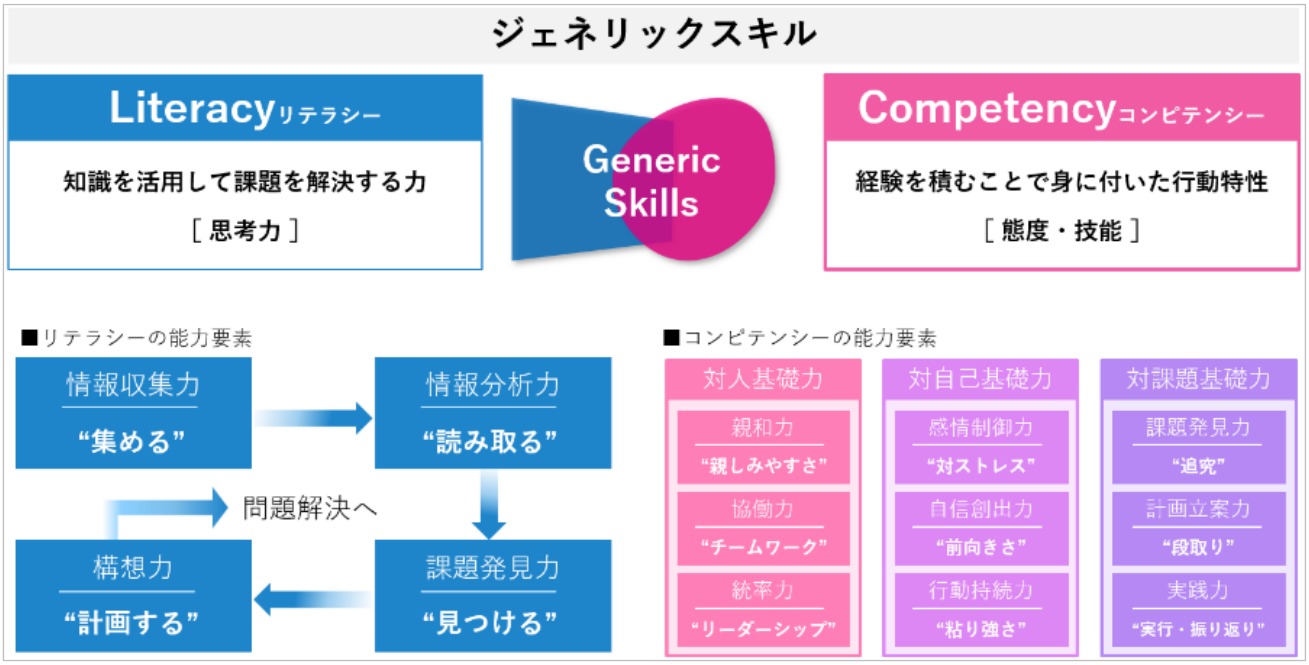
学校法人 河合塾
経営戦略推進室

# 10年、100万人の受験者から見えた高校生の資質・特性は？

## ～キャリア教育を後押しするアセスメント「PROG-H」累計受験者が100万人を突破～

**河合塾が2016年より高校向けに展開するアセスメントテスト「PROG-H」（プログエイチ）の累計受験者が2026年8月末に100万人を突破しました。**

**PROG-H は、非認知能力を含む汎用的な力「ジェネリックスキル」（下図参照）を測定するアセスメントです。主にキャリア教育の場で、高校生が自身の資質や特性を客観的に知り、将来に向けて、学校生活でどのような力を伸ばしていくかを考える機会として活用されています。先生方にとっても生徒の理解を深めるツールとなるものです。**




▲「ジェネリックスキル」詳細。PROG-Hでは、リテラシとコンピテンシー、計13の観点から汎用的能力を測定する

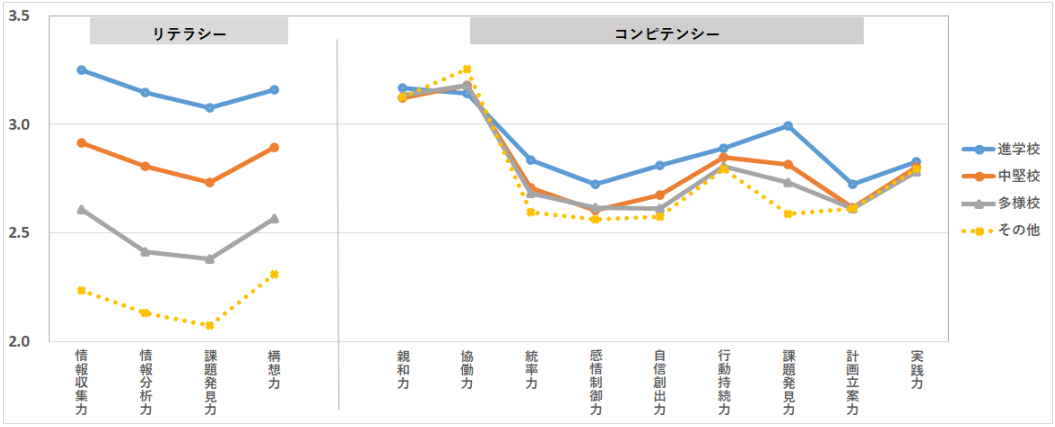
## ■100万人の受験者からみえてきた高校生の傾向

10年にわたり、PROG-Hを受験した100万人の高校生のデータから、様々なことがみえてきました。ここではそのいくつかを紹介します。

### ①コンピテンシー（行動する力）は必ずしも進学校が高いとはいえない

学校別のジェネリックスキルの平均値を算出すると、リテラシー（考える力）は教科学力と相関があり、いわゆる進学校が高い傾向がありました。一方、コンピテンシー（非認知能力を含む、行動する力）と教科学力に相関はみられず、必ずしも進学校が高いとは言えない結果となりました。また、前向きさの力を示す「自信創出力」、粘り強さの力を示す「行動持続力」、実行・振り返りの力を示す「実践力」は、学力水準に依存せず、学校による差が大きいことがわかりました。

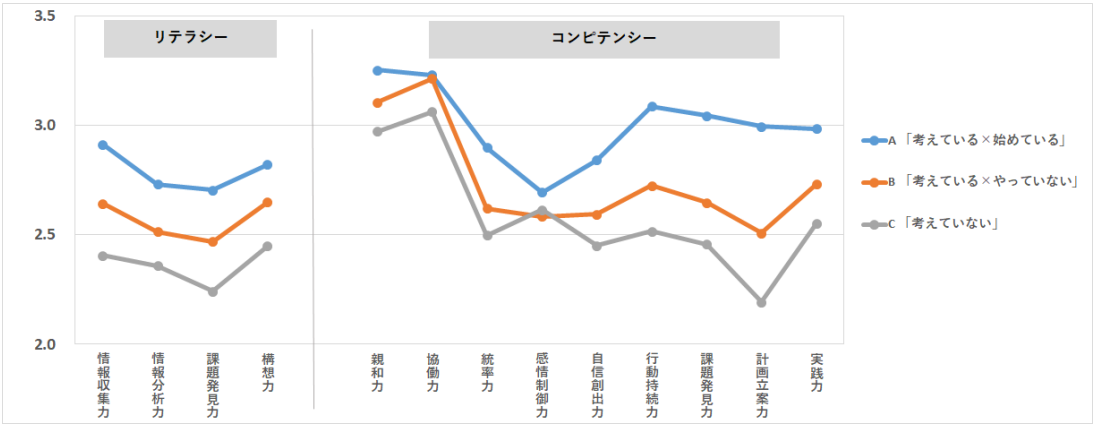
高校タイプ別
（高２）




## ②ジェネリックスキルの成長には、キャリア意識が関連

一方で、リテラシー・コンピテンシーともにキャリア意識と関連のあることが見えてきました。高校生に自分の進路や将来の職業選択についてどの程度考えているか、またその準備を始めているかを聞くと、これらの意識が高い生徒の方が、リテラシー・コンピテンシーが高い傾向がありました。さらに、「キャリアについて考えており、かつ行動している層」と、「キャリアについて考えてはいるが、行動はまだしていない層」にも差がみられており、キャリア教育の場で、いかに高校生の行動を促すかが、その後の能力伸長に重要であることが浮き彫りになりました。

キャリア意識の
成熟度別（高２）




## ■キャリアを考える第一歩は、「自己を客観視し、日々の生活で成長につなげること」

高校でキャリア教育が広まる中、生徒が将来を考える際に「自分にはどのような強みがあるのか」、「これからどのような力を伸ばしていくのか」といった、自身の資質や特性、志向といった自己理解を深めることが大切です。この自己理解は、拡大が続く総合型・学校推薦型選抜で志望理由書などを書く際にも欠かせません。

同時に、自己理解で知った自身の資質や特性から、将来に向けて必要な力を理解し、日々の学校生活のなかでその力を伸ばすことを意識し、実践することも大切です。

「PROG-H」は、生徒一人ひとりの資質や特性の数値化だけでなく、数値を読み解き、日々の生活で能力伸長に生かしていただくことを重視しています。このため、キャリアカウンセラーによる解説会の実施や、生徒用ガイドブックの提供といった受験後のアフターフォローを積極的に行い、生徒が受けっぱなしにならないようにサポートしています。

実際に導入された高校の先生方からは、資質・特性を数値化できることはもちろん、数値が示す意味を生徒一人ひとりが自分ごととして理解し、その後の行動につなげられる点を高く評価いただいています。



**◀「生徒向け解説会」**
数値の読み解き方や結果の高校生活での生かし方を説明

## ■100万人を節目に、高校生の主体的な未来づくりを支援

私たちがめざしているのは、アセスメントテストを通して生徒の行動変容を促すことです。

PROG-Hで得られた客観的な結果を手がかりに、生徒自身が「自分を知る」ことから始め、「何を伸ばしたいか」を考え、行動する。そのプロセスを先生方とともに支えることを重視しています。

累計受験者100万人突破を一つの節目として、河合塾は今後も一人ひとりの資質・能力にも目を向け、高校生が自分自身を理解し、主体的に未来を考えていくための学びと、それを支える先生方の教育活動を支援してまいります。

ぜひ貴媒体でご紹介ください。PROG-Hの体験受験や解説会の見学など、ご取材のご相談も歓迎いたします。

・学びみらいPASS トップページ https://www.keinet.ne.jp/teacher/service/manabi-mirai/

・PROG-H 詳細ページ https://www.keinet.ne.jp/teacher/service/manabi-mirai/contents.html

### PROG-H（学びみらいPASS）について

学びみらいPASSは、未来を切り拓くために必要な「学び続ける力」を測定し、生徒の特徴を多面的に捉えた進路・進学指導を実現します。

変化の時代には、単なる教科学力だけでなく、主体的に「学び続ける力」が求められます。学びみらいPASSでは、教科学力に、「リテラシー」「コンピテンシー」を加えた学力の３要素や、学力育成の下支えとなる「興味・関心」「学習生活パターン」を測定し、生徒の「学び続ける力」を育成します。



以下の項目では、AとB２つの行動や考え方が対になっています。どちらがあなた自身によりあてはまるかを考え、【「Aのほうがよくあてはまる」から「Bのほうがよくあてはまる」】の中から1つ選んでください。

**解答が難しい項目があっても、直感で、あてはまるものを選び全ての項目に答えてください。**

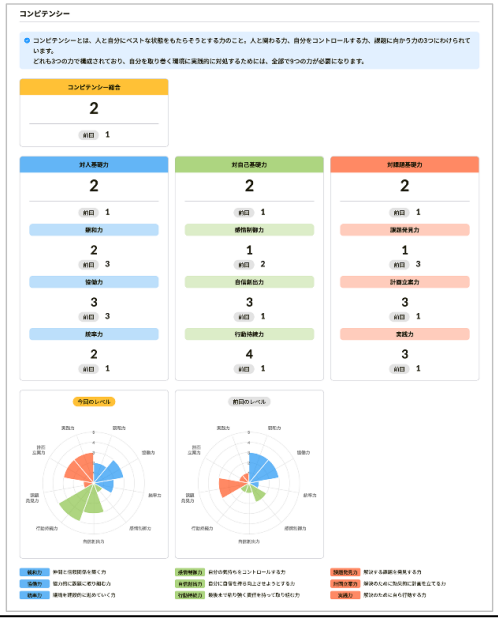
1ページ／1ページ

| 設問番号 | A | Aの方がよくあてはまる | どちらかといえばAの方があてはまる | どちらかといえばBの方があてはまる | Bの方がよくあてはまる | B |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 自分と違う意見を聞くと、どうしてそう思うのか興味がわく | ○ | ○ | ○ | ○ | 自分と違う意見を聞くと、自分の意見を主張して反論したくなる |
| 2 | 物事を決めるときにはアイデアや意見を皆で出し合うことが多い | ○ | ○ | ○ | ○ | 物事を決めるときには一人で考えを深めることが多い |
| 3 | 自分の考えが理解されるまでは、ねばり強く何度も意見を主張する | ○ | ○ | ○ | ○ | 自分の考えが理解されないときは、無理をせず周囲の雰囲気に従う |
| 4 | 話し合いでは自分の意見を主張することが多い | ○ | ○ | ○ | ○ | 話し合いでは皆がどんな意見なのかを聞いていることが多い |
| 5 | 自分の気持ちや感情を包み隠さず人に伝える | ○ | ○ | ○ | ○ | 自分の気持ちや感情を相手に合わせて考えながら表現する |

▲PROG-H コンピテンシー 問題サンプル

学びみらいPASSの主要アセスメントであるPROG-Hは、 社会で求められる汎用的な能力（ジェネリックスキル）を「考える力」（リテラシー）と「行動する力」（コンピテンシー）の２つの観点から測定します。 生徒の強みや伸びしろを発見し、自己理解を深めることができます。結果は、生徒自身の自己理解や目標設定に活用されるほか、進路指導やキャリア教育、探究学習の支援にも役立てられています。

また、定点的な受検により、生徒一人ひとりの成長の過程を可視化できることから、多くの高校で教育活動の充実や指導改善に活用されています。



コンピテンシー

コンピテンシーとは、人と自分にベストな状態をもたらそうとする力のこと。人と関わる力、自分をコントロールする力、課題に向かう力の3つにわけられています。
どれも3つの力で構成されており、自分を取り巻く環境に実践的に対処するためには、全部で9つの力が必要になります。

PROG-H 結果画面▶


**－ 本件に関する報道関係者様のお問い合せ先・取材申込先 －**

河合塾 経営戦略推進室 広報センター

【TEL】03-6811-5508 【E-mail】press@kawaijuku.jp

【受付時間】9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）